

フォト だいいご

トップアスリート

金メダリストがやって来た



吉田沙保里選手の
プロフィール

指導を受けた
篠崎杏樹さん
(だいいご小5年)の感想



三重県出身

中京女子大卒・総合警備保障所属

元レスリング日本チャンピオンだった父の影響で3歳からレスリングを始め、鋭いタックルを武器に中学1年生から現在まで国際大会93連勝中。連続優勝記録も22に伸ばしている。

女子レスリングが正式競技になったアテネオリンピックで金メダルを獲得(55kg級)。優勝した瞬間、師匠である栄和人コーチを肩車した姿は日本中に大きな感動を与えた。

私は練習でとても思い出になったことが2つあります。1つ目は、吉田選手とうちこみをしたことです。私はとてもきんちょうしましたが、思いきって吉田選手にタックルしました。栄コーチは、私のタックルの悪い所などを分かりやすく教えてくれました。ほめられた時は、とてもうれしかったです。もう1つは、吉田選手と30秒スパarringをしたことです。世界のトップアスリートとスパarringができるなんて、夢のようでした。私はタックルを入れることはできましたが、逆に、フォールされてしまいました。とてもスピードがあって、力強さを感じました。私は、これからモレスリングの練習にはげんでがんばりたいです。

2004年のアテネオリンピック女子レスリング55kg級で金メダルを獲得した吉田沙保里選手が、11月19日に行われた「ちびっ子レスリング大子教室」(大子一高格技場)で、大子ジュニアレスリングクラブの子どもたちに直接指導をしました。

「ちびっ子レスリング大子教室」は、文部科学省(財)日本体育協会の「子どもの体力向上キャンペーン」スポーツ選手ふれあい指導事業として開催されたもので、子どもたちは、金メダリストから直接、指導を受けられるという貴重な体験をすることができました。

吉田選手は現役の金メダリストだけあって、その言葉には説得力があり、子どもたちは一挙手一投足に真剣なまなざしを注いでいました。しかし、練習を終えるとサインをもらうために吉田選手を囲み、色紙やシャツに「アテネオリンピック 金メダル 吉田沙保里」と書いてもらうと、とてもうれしそうで、「大事な宝物」をそっとしていました。